



# ファンダイブツアー申し込み用紙

TOUR	TOUR DATE
------	-----------

お名前		生年月日	性別
住所		Diver's Information	
		指導団体	カード番号
電話番号	Eメール	レベル	潜水本数
緊急連絡先		最後のダイビング	飛行予定

## 認定ダイバー経験プログラム免責同意書

署名する前に注意してお読みいただき、すべての空欄にご記入ください。

私  (氏名) は、私が認定ダイバーであり、安全ダイビングのトレーニングを受けていて、スキューバ・ダイビングとスクーバ・ダイビングのリスクを熟知していることをここに宣言します。

私は  (ダイビング・プロフェッショナル)、3D Adventures、PADI インターナショナル社、同社の関連会社または子会社、およびそれらの従業員、役員、代理人、譲受人 (以下「免責当事者」という) が、私がこのダイビングに参加した結果として、あるいは免責当事者を含むいずれかの当事者の (能動的または受動的な) 過失の結果として生じた私の死亡、障害、損害について、私自身または私の家族、相続人、譲受人に対する責任を問わないことを理解し、それに同意します。

私は、圧縮空気を使うダイビングでは、再圧チャンバーでの治療が必要な空気塞栓症やその他の高圧空気障害が起きる可能性があることを理解しています。私はまた、再圧チャンバーから時間的または身体的に離れた海や湖でダイビングがおこなわれる可能性のあることも、理解しています。私は、ダイビングする場所の近くに再圧チャンバーがない可能性があることを知りながら、ダイビングに参加します。

私は、私が心身ともにダイビングに適した状態にあること、および、ダイビングにとって好ましくないアルコールや薬物の影響下にないことを、ここに宣言します。医薬品を服用している場合は、医師と相談した上で医薬品の影響下でダイビングをすることについて承認をもらっていることを、ここに宣言します。

私は、スキューバ・ダイビングとスクーバ・ダイビングが激しい運動であること、およびダイビング中では相当な体力を使うことを理解しています。また、心臓発作、パニック、呼吸不全などの結果として私が傷害を受けた場合には、かかる傷害のリスクを自分で負い、免責当事者の責任を問わないことに同意します。

私は、ダイビング前に器材一式を点検し、いずれかの器材が適切に機能しない場合は、それを免責当事者に通知します。私がダイビング前に器材の点検をおこなわなかった場合でも、その責任を免責当事者に問うことはありません。

ダイビングへの参加を許されたことの見返りとして、私は、予見可能なものと予見不可能なものを含め、ダイビングに関連して私が受ける可能性のあるケガ、傷害、損害のリスクをすべて自分自身で負います。私は、私がダイビングに参加したことによって、私または私の家族、相続人、譲受人がこのような請求または損害から、免責当事者を守って補償します。これにはダイビング中とダイビング後のクレームが含まれます。

私は、私が法的に資格のある年齢であり、この免責書類に署名する法的能力があること、あるいは、そうすることについて、私の親または後見人から書面による同意を受けていることを、ここに宣言します。

私は、本書に盛り込まれた規定は約定規定であって単なる前文ではないことを理解し、私が自分の意思で本書に署名したことに同意します。

私は、本書に署名することにより、 (ダイビング・プロフェッショナル)、3D Adventures、PADI インターナショナル社および上述の関係者を原因の如何にかかわらず (免責当事者の能動的または受動的な過失を含むが、ただしそれだけに限られない)、あらゆる傷害、財産の損害、不当な死亡に関する責任から免除します。

私は、私自身とその相続人を代表して本書に署名する前に本書を読むことにより、免責とリスクの内容を十分に理解しています。

本人の署名  日付

親/後見人の署名 (該当する場合)  日付

## PADI 安全潜水標準実施要項了解声明書

### 注意して読んで後にご署名ください。

この声明書は、スキューバ・ダイビング、スクーバ・ダイビングを安全に行うために必要なことを知っていただくためのものです。これらを再確認し、理解していただくためにまとめられたものであり、ダイビングをするにあたっての快適さや安全性を増進していただくために作成されています。安全なダイビングをするための習熟を認識されているという確認として、あなたの署名が必要です。署名をする前にこの声明書をよく読み、ご不明な点がある場合には担当のインストラクター、またはスタッフにお尋ねください。もしあなたが未成年の場合は、保護者 (親権者) の署名も必要になります。

- 私  (氏名を楷書で) は、ダイバーとして以下の事項を守るべきであることを理解しています。
- ダイビングするときは、心身共に健康を維持してください。アルコール類や危険性のある薬物を服用してダイビングしてはいけません。継続教育を通してダイビング・スキルを維持するようにし、久しぶりにダイビングをするときにはコントロールされた環境で復習をするようにして、知識やスキルを忘れないようにしてください。
  - あなたが潜るダイビング・ポイントをよく知ること。初めて潜る場合やダイビング・ポイントの情報が不足している場合は、知識豊かな現地スタッフなどから正式なオリエンテーションを受けてください。あなたが覚悟したことのある環境よりもコンディションが悪い場合には、ダイビングを延期するか、あるいは良いコンディションのダイビング・ポイントを代替地として選ぶようにします。あなたの受けたトレーニングや経験にあったダイビング活動のみに参加するようにしてください。専門のトレーニングを受けていない場合は、ケープあるいはテクニカル・ダイビング活動に参加してはいけません。
  - よく手入れされていて、使い慣れている器材を使用してください。器材は各ダイビング前に正しく調整し、きちんと作動するかチェックをしてください。認定を受けていないダイバーに自分の器材を使用させてはいけません。スクーバ・ダイビングを行うときは必ず BCD と残圧計を使用してください。バックアップ空気源 (オクトパスなど) や中圧インフレーター (パワー・インフレーター) を使用するほうが望ましいということを認識してください。
  - フリーフィングや注意事項、その他ダイビングに関する説明や指示をよく聞いて、あなたのダイビング活動を監督する人のアドバイスに敬意をはらってください。また、特別なダイビング活動への参加、不慣れた地域でのダイビング、6 カ月以上ダイビングをしていない場合などは追加のトレーニングが推奨されることを認識してください。
  - ダイビング中は、最初から最後までバディ・システムを守ってください。水中での連絡方法や万一離れ離れになったときに再集合するための方法、緊急手順などのダイブ・プランをバディと一緒に計画してください。
  - RDP の使用方法をきちんと理解してください。全てのダイビングを減圧不要限界内で行い、安全のために余裕を持ったダイビングを計画し、実行します。水中で深度や時間を測るために必要な計器を携行してください。最大水深はあなたが受けたトレーニングや経験のレベルをよく考えて決定するようにし、1 分間に 18 メートルより遅い速度で浮上してください。SAFE ダイバーになること、Slowly Ascend From Every dive (すべてのダイビングでゆっくりと浮上)、3 分間あるいは用心してさらに長く、深度 5 メートルで安全停止をしてください。
  - 正しい浮力を維持してください。ダイビング前に BCD に空気を入れず、状態で水面で中性浮力になるようにウエイトを調整するようにします。水面移動するときや水面で休息するときにはプラス浮力を確保してください。ウエイト・ベルトはいつでもすぐ外せるように装着し、ダイビング中にトラブルが起こった場合は、まずプラス浮力を確保することを忘れないようにしてください。
  - ダイビング中は正しい呼吸を維持してください。圧縮空気を吸っているときには絶対に息ごらえやスキップ呼吸をしてはいけません。また、スキューバ・ダイビングなどの息ごらえダイビングでは、過剰なハイパーベンチレーションを避けてください。水面、水中を問わず、水中にいるときは動きすぎて疲れてしまわないようにし、あなたの能力の限界内でダイビングしてください。
  - 可能な限り、ポートやフロート (浮具)、その他の水面用ステーションを設置して使用してください。
  - 各ダイビング・ポイントでの漁業規制や、ダイブ・フラッグの使用など、ダイビングに関する法律や規則やルールを守ってください。
- 私は、これらの実施要項の重要性と目的を理解しました。これらを守ることが私自身の安全と楽しみのために必要であることを理解し、ダイビングするにあたって、これらの実施要項を守らない場合には私自身を危険な状況におよぼす可能性があることを認識しています。

本人の署名  日付

親/後見人の署名 (該当する場合)  日付